



# NiFA NEWS

## 2016希望郷いわて国体 総合優勝 ～成年女子初優勝！～

第71回国民体育大会 2016希望郷いわて国体 試合結果  
(成年女子)

優勝 新潟県選抜 愛媛県選抜  
第3位 北海道選抜

10月5日(水) 決勝戦 13:30～ 滝沢総合公園陸上競技場  
新潟県選抜 (0-0) 愛媛県選抜

(成年男子)  
第4位 新潟県選抜

10月6日(木) 3位決定戦 11:00～ いわぎんスタジアム  
新潟県選抜 (1-3) 千葉県選抜

(少年男子)

第5位 新潟県選抜

10月4日(火) 準々決勝 11:00～ 遠野運動公園陸上競技場  
新潟県選抜 (2-3) 広島県選抜



### 『初優勝』から次への歩みへ

成年女子監督 板垣 雄平

この度、国体成年女子として『初優勝』という結果を出すことができました。今日に至るまでの新潟県女子サッカーの長きに支えて頂いた、様々な方々の努力の結晶として、今年度の成年女子チームは活動を行って参りました。我々の行ってきた活動は、新潟県女子サッカーという長き歴史、そして、この歴史に尽力された方々への敬意を表すものであり、これからの新潟県女子サッカーのありべき姿であったと思っております。

選手・スタッフはもとより、新潟県体育協会・新潟県サッカー協会・女子委員、会・アルビレックス新潟・新潟医療福祉大学・JAPANサッカーカレッジ、様々な組織や携わって頂いた方々のご理解とご協力があったものであり、一つでも欠けてはならないものであると今年度の活動を通して示せた実感があります。そして、誰がではなく全ての人が、同じ方向を向き、やるべき役割を全うすること、それがこの優勝の二文字に現れ



### 東日本大震災復興の架け橋 第71回国民体育大会希望郷いわて国体について

成年男子監督 有田 一矢



今回、岩手国体に出場するにあたり、皆さんの皆様にご支援をいただき心より感謝しております。今年度の新潟県成年男子チームは新潟経営大学、新潟医療福祉大学、新潟大学、JAPANサッカーカレッジの4チームからの選抜チームで構成されたチームで第37回北信越国民体育大会(長野県開催)での代表決定戦同様のメンバーで迎えました。

1回戦は島根県代表に前半8分に先制されましたが前半35分にも点とし、1対1の延長戦に入り延長前半、後半に追加点を挙げ3対1で何とか勝利することができました。

2回戦の対戦相手は優勝候補である愛媛県代表は前半24分に先制され、後半26分に同点、延長に入りお互い、得点出来ずPK戦の末7対6で勝利しベスト4進出。

準決勝の相手は静岡県代表に前半24分に先制され、後半26分に同点、延長に入りお互い、得点出来ずPK戦の末7対6で勝利しベスト4進出。

選手、スタッフ総勢21名が、緊張感を持ちながら、いい雰囲気の中で日の3位決定戦に臨みましたが千葉県代表に前半1対2、後半0対1の合計1対3で敗れはしましたが、全国で4位という成績を収めることができました。

### 希望郷いわて国体を終えて

少年男子監督 原 伸洋

過日開催された希望郷いわて国体では、少年男子は3回戦で広島県に敗退し、ベスト8(5位)という結果でした。チームとして本格的に活動を始めた2015年9月からこれまでの間、活動へのご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、本大会では新潟県は2回戦(対宮城県)からの出場となりました。直前の合宿では北信越国体でも課題となったDFラインのポジションニングについて特に重点的に取り組んでいただきました。その成果を初戦の大きな目標でした。試合は新潟がボールを保持しながら攻撃することができ、宮城の細かいコンビネーションで押し込まれ、決定機を作られる場面もありました。新潟は31分に先制し、70+5分に与えた直接FKで追いつかれましたが、90+5分にカウンターから得たFKを直接決め、劇的な勝利となりました。重点課題であったDFラインのポジションニングについては、DFラインの背後へ力強いスプリントを繰り返す広島の攻撃に對して、これまで重点的に取り組んできた課題の成果を試す絶好の機会となりました。試合は全選手が勝利への集中力をみせ、49分にCKから先制し、55分には流れの中から中央を崩して追加点を奪いました。しかし、シュート数が新潟7本、広島



岩手国体出場にあたり御協力頂いた各大学のスタッフの皆様へ感謝し、今後、よりよい成績が求められる様取り組み、この場を借りて御礼申し上げます。

25本という記録のおり、広島には終始ボールを支配され、58分、70分に失点し、さらに延長終了間際の90+1分に決勝点を決められました。あと一步のところで敗れましたが、重視していた課題の成果は確認できました。

敗退後、選手達は「次やっても勝てる気がしない。」「彼らはマシンのようだ。」「と、言っていました。それほど広島の選手とはプレイングの力強さと正確さにおいて差がありました。選手達にはこの気持ち忘れずに、今後も努力し続けていってほしいと思います。



### 祝！希望郷いわて国体総合優勝！！

技術委員会 委員長 丸山 有一

去る10月2日より、こちらは北信越国体  
岩手県において第71  
回国民体育大会サッ  
カー競技が開催され  
ました。本年度は成  
年、女子、少年の3  
種別とも予選を突破  
し本大会に出場を果  
たしました。

成年は例年と同じ  
くジャパンサッカー  
カレッジを主体とし  
そこに大学生が加わ  
る体制で臨みました。  
すべて格上の相手な  
がら粘り強く戦い、  
延長、PKを制しな  
がら見事ベスト4の  
成績を達成しました。

本大会前はリーグと  
の兼ね合いから十分  
な準備期間が取れな  
いなど課題もありま  
した。次年度天皇  
杯の日程変更等の絡  
みを活用し、より密  
度の濃い強化体制を  
構築していければと  
考えます。

続いて女子ですが、  
や北信越プリンスリ  
グに5チームが参戦  
して、十分な練習機  
会が確保出来ず、現  
場の苦労が大変な1年  
でした。非常に難し  
い状況でベスト8ま  
で進出することが出  
来たことは評価に  
値します。準々  
決勝の広島戦も後  
半ロスタイムで追  
いつかれ、延長で  
逆転を許してしま  
いましたが、あと  
一歩のところであ  
り、たまたま、そ  
のあと一歩をクリ  
アしていく取組  
みが今後は必要だ  
と考えます。

最後に、ときめき  
国体以来、2回目  
の総合優勝を達成  
することが出来まし  
た。地元開催で他  
競技を含め県全  
体で強化をしてい  
た1回目とは大き  
く意味が違と思い  
ます。地元の皆様  
の皆様に感謝致し  
ます。

吉田サッカークラ  
ブは、第24回新津  
カップの小学生年  
代で身に付けさせ  
たいと思います。  
最後に、北信越大  
会では彼らのベ  
ストパフォーマンス  
を引き出せるよう  
取り組んでいま  
す。

吉田サッカークラ  
ブは、第24回新津  
カップの小学生年  
代で身に付けさせ  
たいと思います。  
最後に、北信越大  
会では彼らのベ  
ストパフォーマンス  
を引き出せるよう  
取り組んでいま  
す。

吉田サッカークラ  
ブは、第24回新津  
カップの小学生年  
代で身に付けさせ  
たいと思います。  
最後に、北信越大  
会では彼らのベ  
ストパフォーマンス  
を引き出せるよう  
取り組んでいま  
す。

吉田サッカークラ  
ブは、第24回新津  
カップの小学生年  
代で身に付けさせ  
たいと思います。  
最後に、北信越大  
会では彼らのベ  
ストパフォーマンス  
を引き出せるよう  
取り組んでいま  
す。



しているなどの影響  
から、十分な練習機  
会が確保出来ず、現  
場の苦労が大変な1年  
でした。非常に難し  
い状況でベスト8ま  
で進出することが出  
来たことは評価に  
値します。準々  
決勝の広島戦も後  
半ロスタイムで追  
いつかれ、延長で  
逆転を許してしま  
いましたが、あと  
一歩のところであ  
り、たまたま、そ  
のあと一歩をクリ  
アしていく取組  
みが今後は必要だ  
と考えます。

## 第24回新津カップ

○第24回新津カップ新潟県少年サッカー5年生大会 決勝トーナメント

平成28年10月22日(土)、23日(日)

新津金屋運動広場・阿賀野川水辺プラザ

決勝 吉田サッカークラブ 1-0 グランセナ新潟FCジュニア

優勝 吉田サッカークラブ

準優勝 グランセナ新潟FCジュニア

第3位 club F3、ジョガポラ柏崎Jr

吉田サッカークラ  
ブは、第24回新津  
カップの小学生年  
代で身に付けさせ  
たいと思います。  
最後に、北信越大  
会では彼らのベ  
ストパフォーマンス  
を引き出せるよう  
取り組んでいま  
す。

吉田サッカークラ  
ブは、第24回新津  
カップの小学生年  
代で身に付けさせ  
たいと思います。  
最後に、北信越大  
会では彼らのベ  
ストパフォーマンス  
を引き出せるよう  
取り組んでいま  
す。

吉田サッカークラ  
ブは、第24回新津  
カップの小学生年  
代で身に付けさせ  
たいと思います。  
最後に、北信越大  
会では彼らのベ  
ストパフォーマンス  
を引き出せるよう  
取り組んでいま  
す。

吉田サッカークラ  
ブは、第24回新津  
カップの小学生年  
代で身に付けさせ  
たいと思います。  
最後に、北信越大  
会では彼らのベ  
ストパフォーマンス  
を引き出せるよう  
取り組んでいま  
す。

吉田サッカークラ  
ブは、第24回新津  
カップの小学生年  
代で身に付けさせ  
たいと思います。  
最後に、北信越大  
会では彼らのベ  
ストパフォーマンス  
を引き出せるよう  
取り組んでいま  
す。

吉田サッカークラ  
ブは、第24回新津  
カップの小学生年  
代で身に付けさせ  
たいと思います。  
最後に、北信越大  
会では彼らのベ  
ストパフォーマンス  
を引き出せるよう  
取り組んでいま  
す。

吉田サッカークラ  
ブは、第24回新津  
カップの小学生年  
代で身に付けさせ  
たいと思います。  
最後に、北信越大  
会では彼らのベ  
ストパフォーマンス  
を引き出せるよう  
取り組んでいま  
す。

吉田サッカークラ  
ブは、第24回新津  
カップの小学生年  
代で身に付けさせ  
たいと思います。  
最後に、北信越大  
会では彼らのベ  
ストパフォーマンス  
を引き出せるよう  
取り組んでいま  
す。

吉田サッカークラ  
ブは、第24回新津  
カップの小学生年  
代で身に付けさせ  
たいと思います。  
最後に、北信越大  
会では彼らのベ  
ストパフォーマンス  
を引き出せるよう  
取り組んでいま  
す。

### マリソールズカップと交流活動

マリソールズ 小熊 直道

今年のマリソールズ  
ズカップは7月16日  
と17日に寺泊陸上競  
技場で開催されまし  
た。天気が荒れた時  
もありましたが、無  
事に開催することが  
できました。

さて、今年も参加  
チーム数が少ない中  
で行ってまいります。  
一所懸命にプレーし  
たり審判を各チーム  
手伝ってくださるた  
りともいい大会にな  
りました。審判をし  
てくださった各チ  
ームの方々にはと  
ても感謝しています。  
今年も第9回の開  
催となりました。来  
年は第10周年と  
なる大会になります。  
そのため、ぜひたく  
さんのチームに参加  
して頂きたいです。

各チームにも自分  
の持っている精一杯  
の力を発揮して優勝  
を目指して頑張る  
姿を見て感動してい  
ました。試合に全  
力でぶつかっていま  
した。時には泥  
りしました。

決勝は予選で一度  
負けている相手だ  
ったので、スター  
ティングメンバー  
でベンチに入れな  
かった仲間やベン  
チに入れなかった  
仲間やベンチにい  
れなかった仲間  
の声を聞きながら  
頑張ることができ  
ました。あと、ハ  
ーフタイムの時の  
チームのみんなが  
団結して北信越  
でも優勝したいで  
す。

北信越大会ではチ  
ームが気持ちを一つ  
にして、一人一人  
が練習で目標を持  
ち、努力していき  
たいです。またチ  
ームが団結して北  
信越でも優勝した  
いです。

北信越大会ではチ  
ームが気持ちを一つ  
にして、一人一人  
が練習で目標を持  
ち、努力していき  
たいです。またチ  
ームが団結して北  
信越でも優勝した  
いです。

北信越大会ではチ  
ームが気持ちを一つ  
にして、一人一人  
が練習で目標を持  
ち、努力していき  
たいです。またチ  
ームが団結して北  
信越でも優勝した  
いです。

北信越大会ではチ  
ームが気持ちを一つ  
にして、一人一人  
が練習で目標を持  
ち、努力していき  
たいです。またチ  
ームが団結して北  
信越でも優勝した  
いです。

北信越大会ではチ  
ームが気持ちを一つ  
にして、一人一人  
が練習で目標を持  
ち、努力していき  
たいです。またチ  
ームが団結して北  
信越でも優勝した  
いです。

北信越大会ではチ  
ームが気持ちを一つ  
にして、一人一人  
が練習で目標を持  
ち、努力していき  
たいです。またチ  
ームが団結して北  
信越でも優勝した  
いです。

北信越大会ではチ  
ームが気持ちを一つ  
にして、一人一人  
が練習で目標を持  
ち、努力していき  
たいです。またチ  
ームが団結して北  
信越でも優勝した  
いです。



北信越大会ではチ  
ームが気持ちを一つ  
にして、一人一人  
が練習で目標を持  
ち、努力していき  
たいです。またチ  
ームが団結して北  
信越でも優勝した  
いです。

●●スマイル&チャレンジ●●  
当協会にご支援いただいている法人各社  
TONY テレビ新潟 BSN新潟放送 新潟日報  
東北電力 総合生協 新潟県信用基金協会  
2007年宣言の実現のため諸事業に取り組んでいます!!

東日本大震災 復興支援  
がんばろうニッポン!  
サッカーファミリーのチカラをひとつに!



## 新 潟

### 2016・新潟市FBD/レディース&親子サッカー大会開催！！

新潟市サッカー協会 理事長 佐々木 篤 行

9月4日、青空が眩しく暑い日、鳥屋野運動公園球技場におきまして『2016・フットボールデー/レディース&親子サッカー大会』を開催致しました。

今回も昨年同様、新潟市内のレディースチーム対抗戦並びに、ジュニア・ジュニアユース・お父さん・お母さんチームでのフェスティバルとなりました。

レディース対抗戦は、毎年参加をしている常連の方々参加をはじめ、多数の『サッカーファミリー』よりご賛同いただき開催することができ、日頃の練習成果を発揮していただきました。

試合中は、練習通りのプレーや、それ以上の気持ちのこもったプレーなど、レディースとは思えないほどのプレーの連続でした。又、その反面コミカルなプレーも多数有りました。コンディションも最高でしたので、ピッチ上で転倒しても、人工芝なので泥んこになる事もなく、レディースプレーヤーの方にとっては、ユニホームのよごれを気にせず、思い切ったプレーも存分に発揮し、すごく嬉しそうな素晴らしい、笑顔の絶えない大会になりました。

当日は、レディースと同時に、ジュニア・ジュニアユース・ユース・お父さん・お母さん選手が年齢の枠をこえて対戦するなど多くの試合が行われ、こちらもスピード感溢れるパスワーク???・ドリブル???・シュート???……など、素晴らしく、楽しく、嬉しいプレーが多く見られました。

保護者の方々、チーム監督・コーチの方々も対戦に加わり、数多くボールに触れあう事ができ、ピッチ上でフレンドリーマッチ戦を楽しんでいました。

9月4日の『2016・FBD/レディース&親子サッカー大会』は、皆様にとって『サッカーを楽しくプレーし、笑顔あふれる大会』である事を強く感じました。この大会を来年も継続しサッカーファミリーの輪を一層広げていき、「soccer」を通じて広い年代で、各カテゴリーの壁がなく交流の場を提供し、沢山の「笑顔あふれるフットボールデー」になるよう、今後も開催していきたいと思っております。

尚、当日参加していただいたチームの皆様、運営にご協力いただいた関係者各位には、心より感謝し御礼を申し上げます。誠に有難うございました。

## 上 越

### フットボールデイ開催報告

### 「上越ふれあい杯U-11 サッカー大会」検証レポート

事務局長 栗原 仁

自動車高速道路上信越道全通記念として、第1回開催から15回を迎えるこの大会は、サッカーというスポーツを通じて、青少年の健全な育成と、北信越地区ならびに北関東に及ぶ広地域間の年齢、性別を越えた交流を図ることを目的とし、ならびに大会に関わる全ての人々へのリスペクトの精神とウエルフェアを提唱し、プレイヤーズファーストの理念のもと、サッカーの普及に努める大会である。

毎年、時期的な要因による天候不順により試合時間の短縮や、閉会式の簡略化等々の大会運営役員は言うに及ばず、プレイヤー泣かせの大会であったが、今年は、2日間とも晴天に恵まれ、選手達も応援ご父兄、指導者全員が、それぞれの持ち場において、十二分にサッカーを満喫できたように思う。

天然芝ピッチの状態も近年一番のコンディションで、選手たちはフェアでタフなプレーに果敢にチャレンジしてくれていた。



U-11 カテゴリーの子供たちが、一回り大きく成長してくれた2日間であったように感じられた有意義な大会となった。

来年度も継続して、より一層のサッカーの普及、青少年の健全な育成に努めていきたい。



# 2016 フットボールデー

## 中 越

### 「JFAフットボールデー 2016 in 十日町市」を開催して

中越地区サッカー協会 会長 若山 裕  
(十日町市サッカー協会)

9月11日(日)に本年もクロアチアピッチにて「JFAフットボールデー 2016 in 十日町市」を開催致しました。

昨年と同様に、サッカーを見たことはあるけどボールを蹴ったことのない人や、学生時代に少しだけプレーをした方々など、サッカーを「する人」「観る人」「支える人」そして「応援する人」も対象とし親子59名の参加者で開催しました。

サブタイトル「なでしこキッズサッカースクール」と称し、親子でサッカーを通してスポーツの楽しさを知ってもらう内容は、大好評な手つなぎサッカーや複数ゴールでの試合でしっかりと親子の絆を確認していました。親子以外でのチーム編成は、大人と子供がしっかりと手を握り合い、お互いに思いやる姿は素敵な光景でした。ゲームでは勝者チームの特権である全員で手を繋ぎ雄たけびを挙げました。

世界基準クロアチアピッチの天然芝の感触を確かめるように全員で寝転んだり、子供チーム対親チームの変則ルールで対抗戦を行い、負けたチームは勝ったチームに対し賞賛をしっかりと贈り、勝者側はみんなでハイタッチし感謝の意を表していました。

全員で大きな輪をつくり全員でハイタッチをし、満面の笑みでスクールは終了しました。

来年も是非開催を望む声が多くありましたので、来年度に向けて多くの方々のご協力を得ながら開催できればと思っております。



## 下 越

### フットボールデイ 2016 (下越地区協会)

下越地区サッカー協会 理事長 国枝 晴 隆

新潟県下越地域を対象に、スポーツを楽しむ、サッカーを楽しむ、そして、家族の絆を深めるための時間を創出することを目的とした親子ふれあいサッカーを、9月17日土曜日新発田市カルチャーセンターで行いました。

スポーツに初めて触れるキッズや、サッカーを始めたばかりの小学生、中学校でもサッカーを続けたい女子など、これから先にサッカーファミリーの主演となる子どもたちにとって素晴らしいイベントになりました。

今年度は親子を含め50名近くの動員があり、次世代につながる多くの子ども達がサッカーとふれあうことができています。これからも、選手・審判・指導者という登録者だけでなく、愛好者や多くのサポーターを含めたサッカーファミリーへ、サッカー環境を充実していくことに取り組んでいきたいと思っております。



サッカー人口の増加、そして下越地区全体のサッカーレベルの向上を目的に更なる飛躍をめざして、努力、邁進していく所存であります。

最後に (一社)新潟県サッカー協会が掲げる「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。」という理念にもう一度立ち返り、明確な目標をもって進んでまいります。

今後とも下越地区サッカー協会をご支援いただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。



### 新潟県初開催

### 「皇后杯」本戦2回戦

女子委員長 佐野 裕子



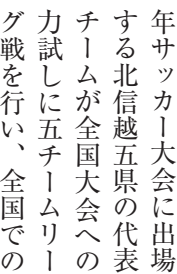
新発田市五十公野陸上競技場にて、10月29日、30日の2日間に渡り熱戦が繰り広げられました。本戦に出場を決め1回戦に参戦されました新潟医療福祉大学、JAPANAサッカーカレッジレディースにおきましては惜しくも敗退。2回戦よりアルビレックス新潟レディースが参戦。そのアルビレックス新潟レディースは、10月29日、オルカ鴨川FCに4-1で勝利致しました。11月5日に行われた第3回戦においても埼玉代表ちふれASエレフエン埼玉に勝利し、この後は12月17日、23日、決勝25日と続きましては、皆様のお力無くしては叶わなかったことと。女子委員会一同、心より御礼申し上げます。JFAから視察にお見えになられた方より「来年もぜひ新潟で！」という大変嬉しい言葉を頂戴致しました。

来年度、またこの新潟の地を選んで頂けて各クラブチーム、女子サッカー部の皆様、沢山のボランティアスタッフの皆様には本当に御礼申し上げます。2日間で4試合という、過密スケジュールの両日を約200名様の方々より全力で支

### 新潟県勢五連覇！

### 「第十五回北信越U-12少年大会」

第四種委員長 鷲頭 昌孝



本大会は、全日本少年サッカー大会に出場する北信越五県の代表チームが全国大会への力試しに五チームリーグ戦を行い、全国での健闘を期すことを目的として創設された。前回大会は、富山県日医工Gで開催され、グラウンセナ新潟FCU-12が優勝した。準優勝の符津サッカースポーツ少年団（石川県代表）は、初日松本山雅FCU-12（長野県代表）に二対一と逆転勝ちし、次に平章サッカースポーツ少年団（福井県代表）には二対〇と勝利



玉代表ちふれASエレフエン埼玉に勝利し、この後は12月17日、23日、決勝25日と続きましては、皆様のお力無くしては叶わなかったことと。女子委員会一同、心より御礼申し上げます。JFAから視察にお見えになられた方より「来年もぜひ新潟で！」という大変嬉しい言葉を頂戴致しました。

来年度、またこの新潟の地を選んで頂けて各クラブチーム、女子サッカー部の皆様、沢山のボランティアスタッフの皆様には本当に御礼申し上げます。2日間で4試合という、過密スケジュールの両日を約200名様の方々より全力で支



### 2016

### 北信越ナショナルトレセン

一般社団法人 新潟県サッカー協会 4種技術委員長 星 直樹

10月7日（金）〜10月10日（月祝）の4日間、石川県の和倉で2016北信越ナショナルトレセンに、新潟県から8名の選手が参加いたしました。狙いは、北信越で優秀な選手38名（GK6名）を集め、サッカーの技術レベルの向上と共に、サッカー選手として必要な食生活、リスペクト、フェアプレーの精神などを学びました。

初日はメデイカルチェックを行った後、フィールドプレーヤーも含めた選手全員でGKのトレーニングを行いました。選手は、普段やらない手でのトレーニングを楽しそうに行っていました。毎年このトレーニングからは、北信越で優秀な選手38名（GK6名）を集め、サッカーの技術レベルの向上と共に、サッカー選手として必要な食生活、リスペクト、フェアプレーの精神などを学びました。

2日目、午前中のトレーニングは「動きながらのコントロール」でした。スクウェアパスの奪取」を掲げてスタートした16年。結果は監督の途中交代や残留争いなど、厳しい戦いを強いられました。来季こそJ1のステージで、私がアルビレックス新潟に大いに期待したい。

3日目、午前中は「ポジションングでは、相手がいない状態で動きながらコントロールする技術が、選手始動が出来ない状況でした。足の面に当たらない。動きながらコントロールが出来る。一番出たのは利き足の逆足でプレーが出来ないことでした。トレセンコーチは時間をかけて丁寧に教えてもらいました。

午後は、「ボールを奪う」。選手は指導者に促されればボールを奪うに行くのですが、発的に行くことができない印象でした。取りに行きたかったのかを、ボール保持者の状況を観ながら奪い

3日目、午前中は「ポジションングでは、相手がいない状態で動きながらコントロールする技術が、選手始動が出来ない状況でした。足の面に当たらない。動きながらコントロールが出来る。一番出たのは利き足の逆足でプレーが出来ないことでした。トレセンコーチは時間をかけて丁寧に教えてもらいました。

午後は、「ボールを奪う」。選手は指導者に促されればボールを奪うに行くのですが、発的に行くことができない印象でした。取りに行きたかったのかを、ボール保持者の状況を観ながら奪い

### アルビレックス新潟J1残留！

最終節まで残留争いがもつれた2016年J1リーグ。アルビレックス新潟も無事に最終節残留を決めることができた。1stステージは13位に、2ndステージの巻き返しが期待されたものの、なかなか勝ち点を取ることができず、残留確定は最終節まで持ち越すことになった。天皇杯もラウンド16で横浜Fマリノス相手に敗退しており、リーグ最終節をもって、今期の全日程を終了した。



順位	チーム	勝点	試合	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	浦和レッズ	74	34	23	5	6	61	28	33
2	川崎フロンターレ	72	34	22	6	6	68	39	29
3	鹿島アントラーズ	59	34	18	5	11	53	34	19
4	ガンバ大阪	58	34	17	7	10	53	42	11
5	大宮アルディージャ	56	34	15	11	8	41	36	5
6	サンフレッチェ広島	55	34	16	7	11	58	40	18
7	ヴィッセル神戸	55	34	16	7	11	56	43	13
8	柏レイソル	54	34	15	9	10	52	44	8
9	FC東京	52	34	15	7	12	39	39	0
10	横浜F・マリノス	51	34	13	12	9	53	38	15
11	サガン鳥栖	46	34	12	10	12	36	37	-1
12	ベガルタ仙台	43	34	13	4	17	39	48	-9
13	ジュビロ磐田	36	34	8	12	14	37	50	-13
14	ヴァンフォーレ甲府	31	34	7	10	17	32	58	-26
15	アルビレックス新潟	30	34	8	6	20	33	49	-16
16	名古屋グランパス	30	34	7	9	18	38	58	-20
17	湘南ベルマーレ	27	34	7	6	21	30	56	-26
18	アビスパ福岡	19	34	4	7	23	26	66	-40

最終日は3日間の集大成をゲームで見せていただき、良かったです。ですが、観る所、やうとする部分の考え方が非常に変わってしまいました。

また4日間のなかで、リスベクトワークシヨップというリスベクト、フェアプレーの精神を学ぶ機会もあり、選手たちは「お弁当を作ってくれるお母さん有難う」「いつも送り迎えをしてくれて有難う」「僕を育ててくれて有難う。絶対親孝行するから待っててください」など感謝の

最終日は3日間の集大成をゲームで見せていただき、良かったです。ですが、観る所、やうとする部分の考え方が非常に変わってしまいました。

また4日間のなかで、リスベクトワークシヨップというリスベクト、フェアプレーの精神を学ぶ機会もあり、選手たちは「お弁当を作ってくれるお母さん有難う」「いつも送り迎えをしてくれて有難う」「僕を育ててくれて有難う。絶対親孝行するから待っててください」など感謝の





第11回

# 全国ビーチサッカー大会 初優勝!



**第11回全国ビーチサッカー大会 結果報告**  
 Pro Beach Soccer Club  
 Fusion代表兼GM 藤本 晴久

柏崎市でビーチサッカー選手が4名在籍し、柏崎市にある「みなとまち海浜公園内特設ピッチ」において毎日トレーニングを行ってきた。日々のトレーニングにおいて全員が切磋琢磨して個人・チームのレベルアップに取り組んできました。その甲斐もあり第8回新潟県ビーチサッカー大会・第9回北信越ビーチサッカー大会で優勝し、北信越地域で1枠という狭き門を突破しクラブとして

今年チームには、越前ビーチサッカー大会で優勝し、北信越地域で1枠という狭き門を突破しクラブとして

3年連続で全国ビーチサッカー大会への出場権を獲得しました。過去2大会はいずれも3戦全敗という厳しい結果であったため、大会へむけてプロ選手を中心とした既存選手に加えて外国籍選手2名を加え合計9名で大会へ挑むことになりました。

大会は、予選グループの初戦で東海地域代表「クラブアレイア」に5-1で勝利し、全国大会で初勝利をあげると、勢いにのってチームは第2戦で東北地域第2代表「青森スタリオンス」に10-0で勝利、第3戦で九州地域第1代表「アヴェルダージ熊本BS」に7-2で勝利し、グループ1位で決勝トーナメントへ進出しました。準々決勝で関東地域第3代表「レーヴェ横浜」に7-3で勝利しベスト4進出となりました。準決勝で関東地域第2代表「東京レキオスBS」に3-2で勝利し、決勝戦は開催地域代表「ソーマプライア沖縄」に3-3(PK 2-1)で勝利し初優勝を成し遂げることができました。



1回戦	新潟明訓高校2nd	1-0	カタレ富山U-18
準決勝	新潟明訓高校2nd	0-2	日本文理高校
3位決定戦	新潟明訓高校2nd	1-0	ツエーゲン金沢U-18
決勝	日本文理高校	1-0	金沢高校
優勝	日本文理高校		
第3位	新潟明訓高校2nd		
高円宮杯U-15地域リーグ	第8回北信越ユース(U-15)サッカーリーグ2016		
新潟勢上位3チーム独占			
1位	長岡JYFC		
2位	アルビレックス新潟		
3位	グランセナ新潟FC		
4位	カタレ富山		
5位	SQUARE富山FC		
6位	エスポワール白山FC		

2016年度 新潟県女子サッカーリーグ 対戦結果表

	グランセナ	セント	ジュエル	十日町	新大	wish	高志	高田	勝ち点	得点	失点	得失点差	順位
グランセナ新潟FCレディース	-	5-0	5-0	2-0	1-0	13-0	7-0	5-0	21	38	0	38	1
セントヴィゴレGFC	0-5	-	1-0	2-0	3-2	6-0	5-0	0-0	16	17	7	10	2
FCジュエル	0-5	0-1	-	2-0	2-0	5-0	3-0	2-0	15	14	6	8	3
十日町JACK	0-2	0-2	0-2	-	2-0	2-0	9-0	3-0	12	16	6	10	4
新潟大学女子サッカー部	0-1	2-3	0-2	0-2	-	0-0	3-0	0-0	5	5	8	-3	6
JJwish	0-13	0-6	0-5	0-2	0-0	-	5-1	4-1	7	9	28	-19	5
高志中等	0-7	0-5	0-3	0-9	0-3	1-5	-	1-0	3	2	32	-30	7
高田高校	0-5	0-0	0-2	0-3	0-0	1-4	0-1	-	2	1	15	-14	8

11月12日(土) 13日(日) 開催

第8回ヴィーナスカップ女子(U-14)サッカー大会

優勝: アルビレックス新潟レディース

準優勝: AC館林フェリス(群馬県)

3位: 星稜PEL(石川県)

7位: AC長野パルセ

8位: FCひがし

9位: 武生FC

10位: FCASA

会場: グランセナ新潟サッカースタジアム

主催: (一社)新潟県サッカー協会

優勝 グランセナ新潟FCレディース  
 準優勝 セントヴィゴレGFC  
 3位 FC JEWEL

## 新年会・タウンミーティングの告知

毎年実施しておりました「新春講話会・新年会」を、今回はJFA会長及び役員を迎え、多くの県協会関係者・自治体・メディア等を含めて行う「JFAタウンミーティング」と併せて開催します。

期日 平成29年1月15日(日)

会場 ホテルイタリア軒(新潟市) 3F「サンマルコ」

1、JFAタウンミーティング 13:00~15:00(予定)

2、トークショー 15:30~17:00(予定)

アルビレックス新潟選手(男女)によるトークショー

アルビレックス新潟両監督のシーズン報告と今後の抱負

3、新年会 17:30~20:00(予定)

## NiFA マスタープラン 2007 スタート

(一社)新潟県サッカー協会は、英語名(Niigata Football Association)の略称を従来のNFAからNiFAに変更し、これを「ニーファ」と読みます。

また、新たなスタートを切るNiFAを象徴するシンボルマークを作成。4本の翼は新潟、上越、中越、下越の4地区協会を表し、新潟県の形も示しています。そして4地区協会の飛躍による新たな新潟のサッカーをGOALに向かうサッカーボールで表現しました。さらに濃いブルーは新潟の空と海、地域に根ざしたNiFAを表しています。NiFAはさまざまなシーンでこのシンボルマークを使用していきます。

**NiFAの理念**  
 サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

**NiFAのビジョン**  
 1.新潟県におけるサッカーの普及に努め、全ての県民がサッカーに親しむ環境を作り上げる。他の競技団体と連携し、スポーツをより身近なものとする事で、県民の健康で豊かな生活をサポートする。  
 2.新潟県を代表するチームが日本のトップレベルで活躍できるようにサッカーの強化に努め、新潟県出身プレーヤーが国内外で活躍すること、県民に勇気・希望・感動をもたらす。  
 3.常にフェアプレーの精神を持ち、国内外の人々との友好を深め、社会に貢献する。

**NiFAの目標 2015**  
 2015年には、健全でゆるぎない組織となり、6つの目標を達成する。  
 (1)新潟県内のサッカーファミリーが8万人となる。  
 (2)U-12、U-15、U-18に新潟県出身プレーヤーを合計10人以上輩出し、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出する。  
 (3)高カテゴリーの全国大会において、新潟県チームのいずれかが常にベスト4以上の成績を修める。  
 (4)JFLに加盟するチームを育成する。  
 (5)高カテゴリーの全国大会、国際試合を誘致、運営する。

**NiFAの目標 2050**  
 2050年において、組織基盤をさらに強固なものとし、2050年までに以下の目標を達成する。  
 (1)新潟県内のサッカーファミリーが15万人となる。  
 (2)U-12、U-15、U-18に新潟県出身プレーヤーが合計10人以上存在し続け、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出し続ける。  
 (3)日本でFIFAワールドカップが開催される際には、サッカー専用スタジアムで試合を開催する。





# 第95回全国高校サッカー選手権大会 新潟県大会

## 帝京長岡高等学校

第95回全国高校サッカー選手権大会  
初戦は徳島県代表 徳島市立と対戦決定!

12月31日(土) 第1試合 14:10~  
浦和駒場スタジアムにて試合開始予定



### 第95回全国高校サッカー選手権大会 新潟県大会 試合結果

- 優勝 帝京長岡高等学校
- 準優勝 新潟明訓高等学校
- 第3位 新潟西高等学校
- 〃 長岡向陵高等学校

11月13日(日) 決勝戦 12:15~  
デンカビッグスワンスタジアム

帝京長岡 4 (3-0) 0 新潟明訓

#### 帝京長岡高校

主将 深谷 圭佑



選手権県予選を終えて、試合が終わった瞬間はあまり実感が湧いてきませんでした。しかし時間がたつにつれて全国大会に出るといふ実感が湧いてきました。

決勝戦では先制点を取るまで一人ひとりの動きが硬かったと思います。先制点が取れてからは動きも良くなり、いつものようなサッカーが出来たと思います。大会を通じて無失点で終わったことについてはとても良かったと思います。

この決勝戦はチームにとって通過点なので現状に満足せずに日々のトレーニングに取り組んでいきたいと思っています。

選手権では、夏のインターハイで悔しい思いをしたのでこれからの一か月半で更に成長し、夏の帝京長岡とは違う姿を見せたいと思います。そして一試合一試合を大切に戦い確実に勝利をつかみ取り、帝京長岡のサッカーで日本一を目指したいと思っています。

監督 古沢 徹

大会を終えてまずは関係者の皆様に感謝を申し上げます。

今大会は非常に苦しい試合が続きました。大会全体を通してまだまだ甘い部分が多かったと感じております。

チームとして技術のブレが目立った試合でした。大会までの一か月半でどれだけ技術のブレをなくし、目指すスタイルを貫けるかが重要になってくると思います。

選手権大会に向けて更に引き締め日々のトレーニングに精進していきたいと思っています。

新潟県の代表校という自覚を持ちピッチの中心だけでなく常日頃から緊張感を持った行動を心掛けて全国大会に挑みたいと思います。

# 第40回全日本少年サッカー大会 新潟県大会

### 第40回全日本少年サッカー大会 新潟県大会を終えて

アルビレックス新潟U-12  
監督 対馬 武志

この度、4年ぶりに新潟県大会で優勝することができました。勝ち上がったスコアを見ると、5試合中4試合が1点差の勝利であり、どの試合もとても厳しい戦いでした。常に選手に求めてきたのは、「サッカーはチームスポーツであり、仲間や相手といった自分以外のひと、どのような関わり合いの中でプレーするのが良いか」といったことです。そのため大事なものは、状況を観ること、自分で判断すること、仲間とコミュニケーションをとって助け合うこと、ボールがある時・ない時の基礎技術などです。選手たちは日頃培ったそれらの要素を存分に発揮してくれました。

最後になりますが、今大会を運営して下さった四種委員会の皆様、日頃交流させていただいているチームの皆様など、我々アルビレックスU-12に関わる全ての方々に感謝申し上げます。

#### 優勝できたのは

アルビレックス新潟U-12  
主将 阿部 亜良汰

第40回全日本少年サッカー大会新潟県大会で僕達、アルビレックス新潟U-12は優勝することができました。

優勝できたのは、八月に参加したワールドチャレンジのおかげだと思います。

そのワールドチャレンジで学んだ事は、DFラインでボールを持った時、数的有利を作り、楽にプレーすることです。今大会では、それが発揮できたことで優勝に繋がったと思います。

でも、一つだけ足りないのが得点です。毎試合、決めるべきところで決められないので、いつも苦しい試合になります。なので、もっと決定力を上げ、全国大会では苦しい試合にならないようにしたいです。

僕たちは、今年の二月に「全少全国大会ベスト8以上」と目標を立てました。その目標に向かって鹿兒島で戦ってきます。

### 第39回 全日本少年サッカー選手権大会 新潟県大会 試合結果

- 優勝 アルビレックス新潟U-12
- 準優勝 Noedegrati
- 第3位 長岡JYFC craque
- 第4位 FC大和ジェニオルス

11月5日(土) 決勝戦 長岡市宮陸上競技場  
アルビレックス新潟U-12

3-0  
Noedegrati  
Sanjor FC un

